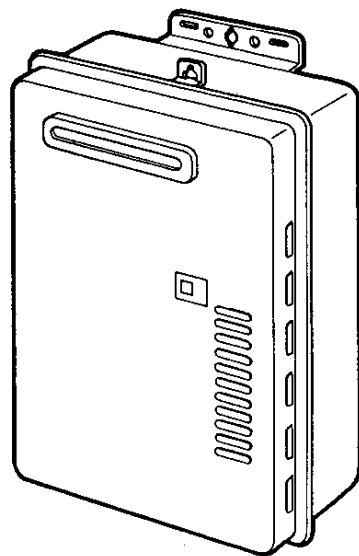


ガス給湯器

33-470/471/472型

型式名 RUX-2010WO
RUX-2010PSOT
RUX-2010PSOB



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

 **大阪ガス**

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器を
お求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

別添の保証書、設置・工事説明書とともに、
この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●各部の名称	1
●操作部の名称とはたらき	2
●使用方法	4
●凍結予防について	7
●安全装置が作動したときの処置方法	9
●特に注意していただきたいこと	11
●日常の点検・手入れ	14
●長期間使用しない場合	14
●故障・異常の見分け方と処置方法	15
●仕様	16
●能力表	18
●アフターサービス	19

各部の名称

33-470

排気口

(33-471, 33-472は
排気口の形状、位置が
異なります。)

フロントカバー

本体

点火確認窓

ガス接続口

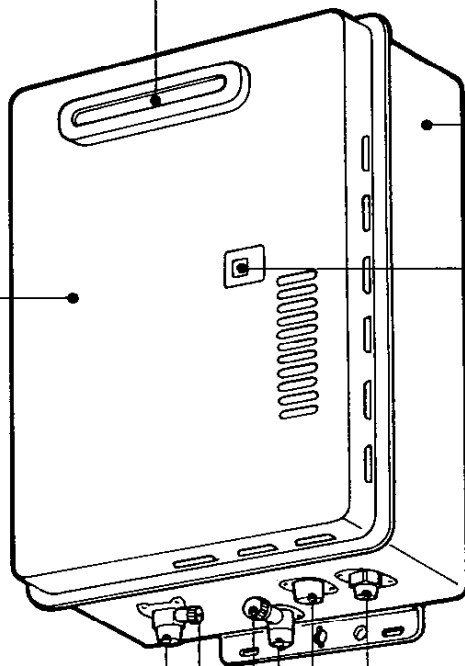
ケーブル接続口

給水接続口

給水水抜き栓
(ストレーナ)

給湯接続口

給湯水抜き栓



操作部の名称とはたらき

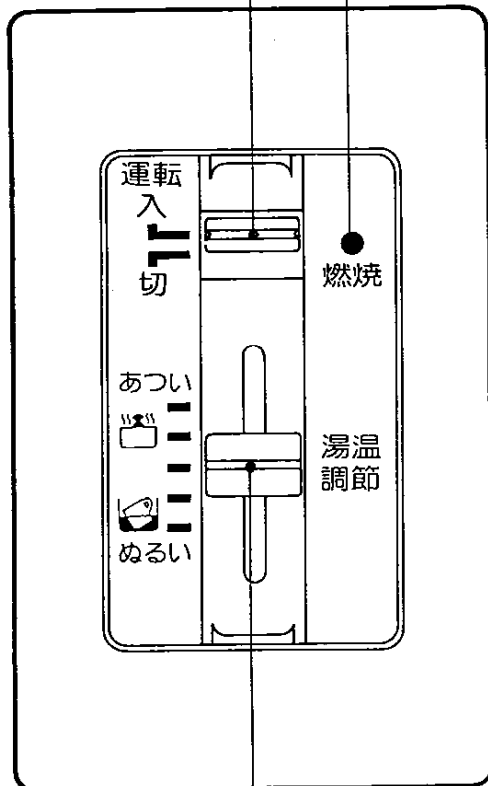
メインリモコン(別売品 38-380)

運転スイッチ

電源の「入・切」に使用します。

燃焼ランプ

燃焼中に点灯します。
※燃焼ランプ点滅のご注意をお読みください。



湯温調節つまみ

給湯温度を調節するとき
に使用します。
(35°C~75°C)

操作部の名称とはたらき

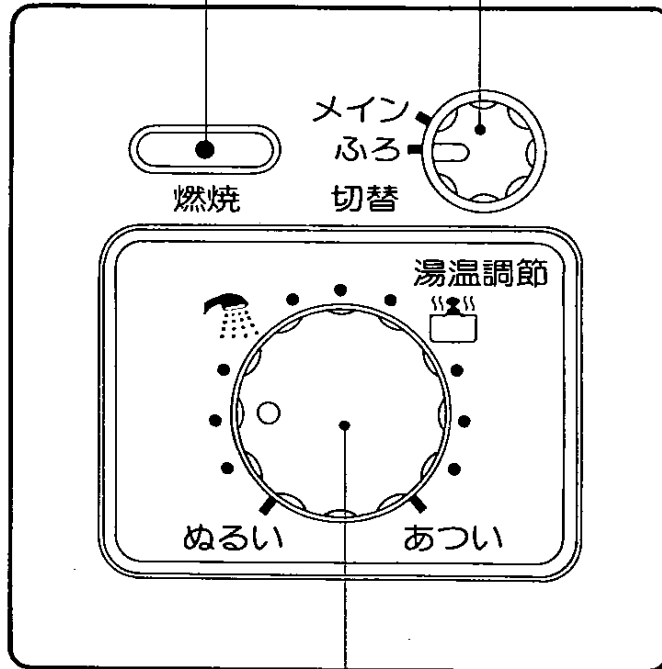
シャワーリモコン(別売品38-381)

燃焼ランプ

燃焼中に点灯します。
※燃焼ランプ点滅のご注意をお読みください。

切替つまみ

ふろにするとメインリモコンでの湯温調節はできませんので安心してシャワーを使用できます。



湯温調節つまみ


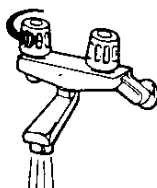
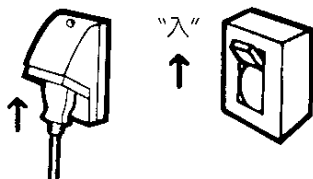
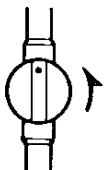
給湯温度を調節するときに使用します。
(35℃～75℃)

燃 焼 ラ ン プ 点 滅 の ご 注 意

- ① 燃焼ランプがゆっくり点滅しているリモコンでは、湯温調節はできません。シャワーリモコンの切替つまみを切り替えてから湯温調節してください。
- ② 燃焼ランプが点灯しない場合(不着火など)、使用中に消灯した場合は、一旦給湯栓を閉め、再度給湯栓を開いてください。それでも点灯しない場合は、取扱説明書の「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。

使用方法

ご使用前の準備

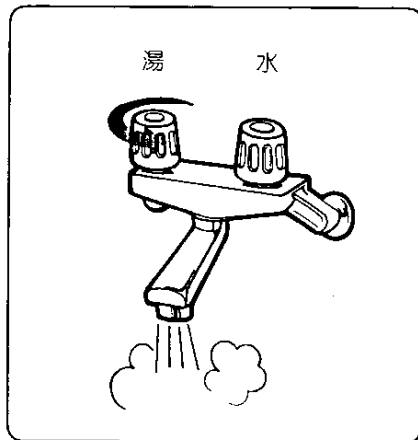
手順 1	手順 2	手順 3	手順 4
<ul style="list-style-type: none"> 給水元栓を全開にしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 給湯栓を開け、水の出ることを確認してから閉めてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 (分電盤の専用スイッチを「入」にしてください) 	<ul style="list-style-type: none"> ガス元栓を全開にしてください。 
器具の下部	お湯の使用場所	器具の下部・分電盤	器具の下部

使用方法 (リモコンのない場合)

点火給湯

- 給湯栓（混合水栓のお湯側）を開けます。
自動的にバーナに点火し、約60℃の熱いお湯がでますから水栓（混合水栓の水側）を開けて適温に調節してお使いください。

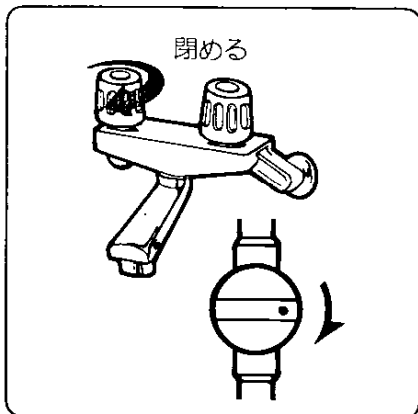
※低温(約42℃)、または高温(約75℃)をお使いになりたい場合は、もよりの販売店が営業所にお申しつけください。



消火

- 給湯栓（混合水栓のお湯側）を閉めます。
自動的に消火します。

※長時間使用しない場合はガス元栓を閉めてください。



使用方法 (リモコンのある場合)

※シャワーリモコン38-381には運転スイッチはありません。

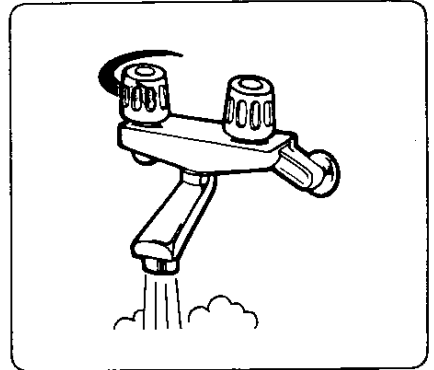
- 運転スイッチを「入」にします。

点 火 給 湯

- ・給湯栓(混合水栓のお湯側)を開けます。
- ・自動的にバーナに点火し、お湯が出ます。
- ・点火と同時に燃焼ランプが点灯します。

注 意

燃焼ランプが点灯しない場合、使用中に消灯した場合は、一旦給湯栓を閉め再度給湯栓を開いてください。



湯 温 調 節

- ・湯温調節つまみでお好みの湯温に設定してください。

※湯温調節つまみと湯温について

この湯温は、器具出口での温度ですが、給湯栓での湯温とは必ずしも一致しませんからあくまでも目安と考えてください。

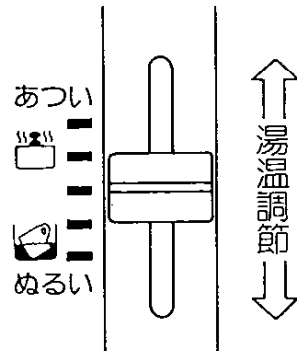
表示	ぬるい	……	あつい
湯温	約35℃	……	約75℃

- ・混合水栓の場合は、湯と水を混合し、必要な湯温と湯量を調節してください。

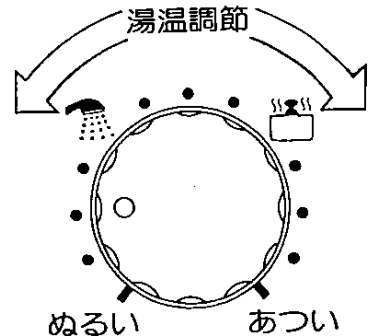
注 意

- ・湯量が給湯能力以上の場合は“高温”に合わせても熱いお湯が出ない場合がありますので、湯量を絞ってお使いください。
- ・燃焼ランプがゆっくり点滅しているリモコンでは湯温調節はできません。
シャワーリモコンの切替つまみを切り替えてから湯温調節してください。
(マルチリモコンタイプの場合)

メインリモコン

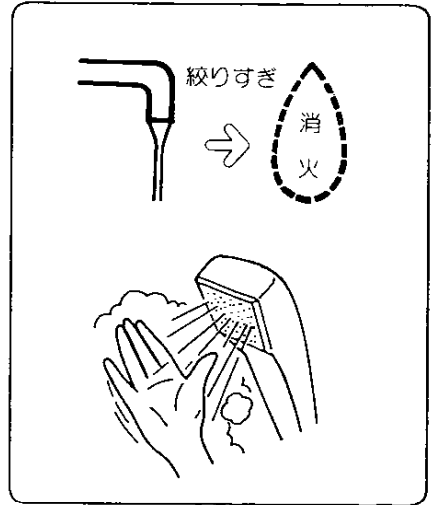


シャワーリモコン



こ 注 意

- 給湯量が約2.9ℓ/分以下になりますと、バーナの火が消えるようになっています。
- シャワーを使用されるときは、手で湯温を確認してからお使いください。
- 給湯栓で湯量を調節しますと水の中の空気が分離して、気泡となり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。

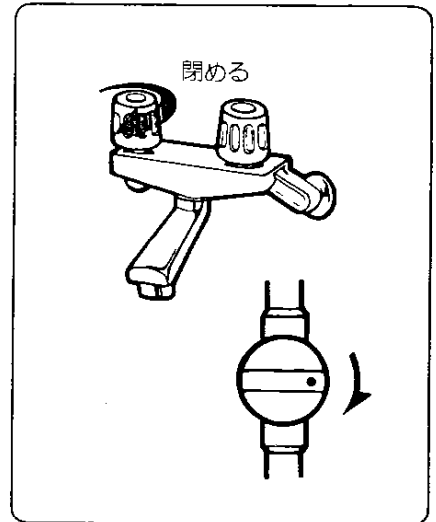


消 火

1. 給湯栓を閉めます。

- お湯が止まり、バーナが消火し、燃焼ランプが消えます。
- 次にお使いになるときは、給湯栓を開けるだけで設定温度のお湯が出ます。

※長時間使用しない場合はガス元栓を閉めてください。



停電後の使用方法

- 停電すると自動的にガスを止め、運転が停止します。
- 使用を一旦中止し、通電再開後、「ご使用前の準備」の項以下の操作を行ってください。

※この器具は電気で作動しますので、停電中は使用できません。

凍結予防について

(暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。)

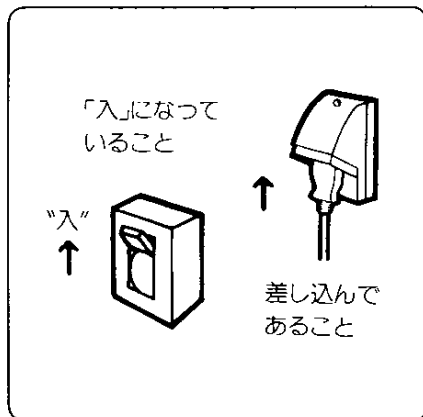
- 冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管や器具内の水が凍結することがあります。
- 凍結すると器具や配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常（空だきなど）をおこす危険性があります。
- 配管には必ず保温材や電熱ヒータを巻きつけるかして十分に保温してください。
- 凍結による修理は保証期間内であっても有料となります。

次のいずれかの方法で凍結を防いでください。

凍結予防ヒータによる方法(自動)

- この器具には、凍結予防のため自動的に器具内を保温するヒータを組みこんでいます。

- 1) 電源プラグがコンセントに差し込んであること（分電盤の専用スイッチが「入」になっていること）を確認してください。
- 電源プラグが抜けている（分電盤の専用スイッチが「切」になっている）とヒータが動きませんのでご注意ください。



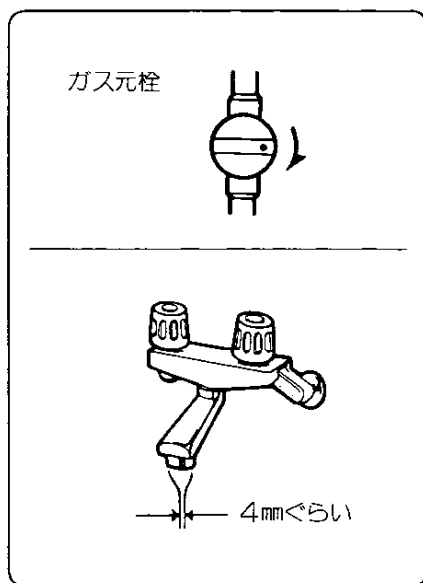
通水による方法

- この場合は器具本体だけでなく、給水・給湯配管、水栓の凍結も予防します。

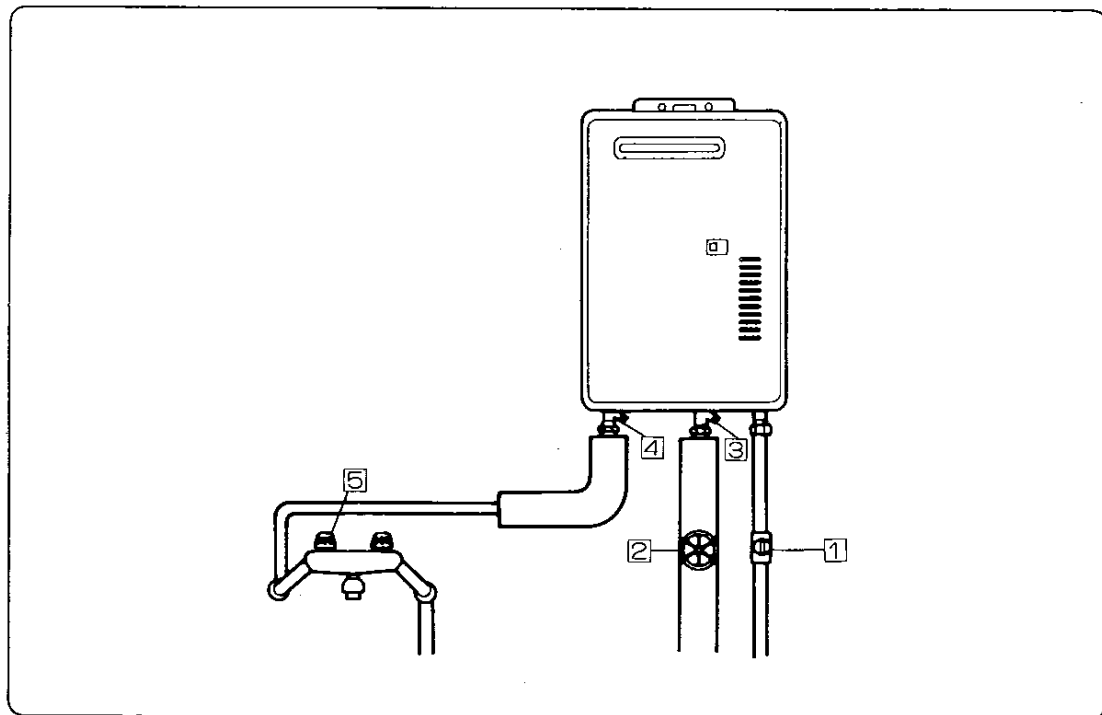
- 1) ガス元栓を閉めてください。
- 2) お風呂場の給湯栓を開け1分間に約200mlの水を浴槽に流し込んでください。

ご 注 意

流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

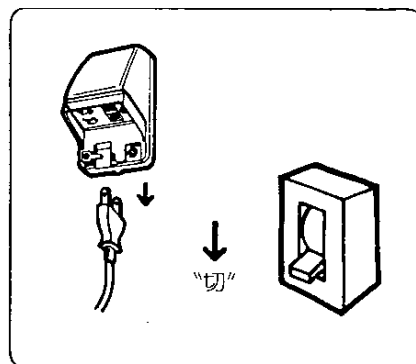


水抜きによる方法



- ・長期間にわたって使用しない場合は必ず行ってください。
- ・外気温が極端に低くなる場合は必ず行ってください。

1. ガス元栓①を閉めてください。
2. 運転スイッチを「切」にしてください。(リモコンのある場合のみ)
3. 電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)
4. 給水元栓②を閉めてください。
寒冷地などで不凍栓使用時は不凍栓を閉じ、給水元栓を開けてください。
5. 給湯栓⑤を全て(シャワーなどを含む)開けてください。
6. 給水水抜き栓③、給湯水抜き栓④を開けてください。



※再使用されるときは、給水水抜き栓③、給湯水抜き栓④および全ての給湯栓⑤を閉めた後、給水元栓②を開け、再び全ての給湯栓から水が出ることを確認してから使用してください。

安全装置が作動したときの処置方法

処置について

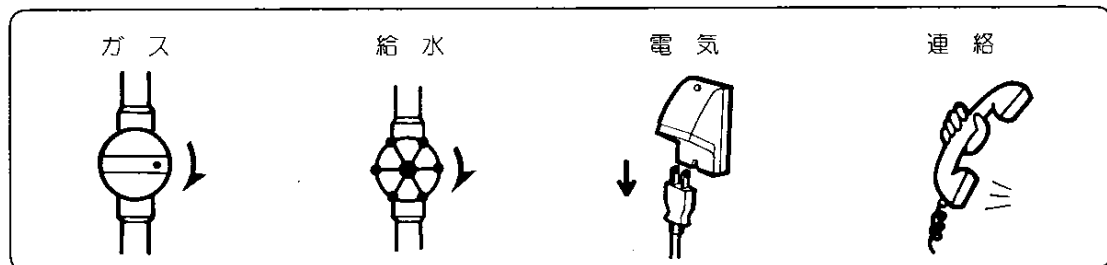
点火しなかったり、ご使用中にバーナが消火したときは、下記の方法および「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。

立消え安全装置が作動した場合

- バーナに点火しなかったときや炎が消えたときは、立消え安全装置が働いて自動的にガスを止めます。
- しばらくして再度操作してください。それでも異常のあるときは、ガス元栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）から、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

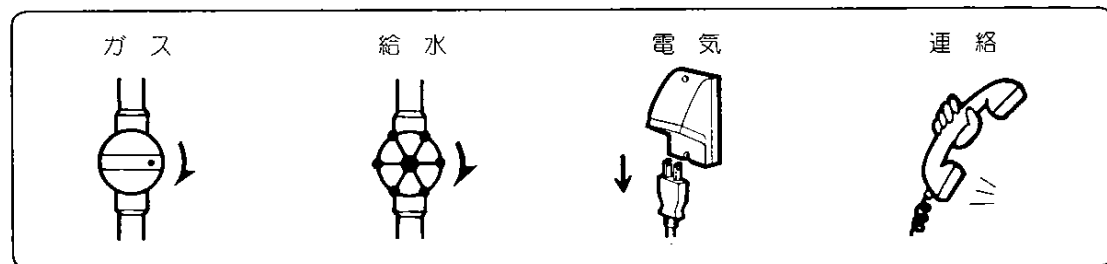
残火安全装置が作動した場合

- 万一、給湯栓を閉めても、バーナの炎が消えなかったときは、残火安全装置が働いて自動的にガスを止めます。
- この装置が働く場合には診断が必要ですので、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。



過熱防止装置(温度ヒューズ)が作動した場合

- ご使用中に器具内の温度が異常に上昇したとき過熱防止用温度ヒューズが作動(溶断)し、自動的にガスを止めます。
- この場合は部品の交換が必要ですので、ガス元栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）から、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。



過圧防止安全装置が作動した場合

- 器具内の水圧が異常に上昇すると過圧防止安全装置(給湯水抜き栓が圧力逃し弁になっています)が作動し(水・湯が出る)、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。
- この装置が働く場合には診断が必要ですので、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。



電流ヒューズが作動した場合

- 過電流が流れますと電流ヒューズ(3A)が切れ(溶断)、自動的に運転を停止します。
- この場合は部品の交換が必要ですのでガス元栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて(分電盤の専用スイッチを「切」にして)から、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

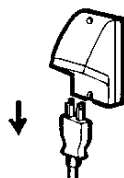
ガス



給水



電気

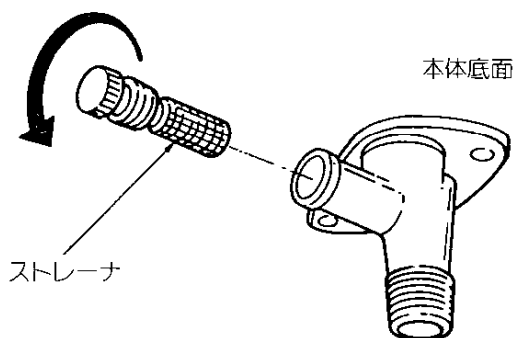


連絡



空だき防止装置(水流スイッチ)が作動した場合

- 給湯量を約2.9ℓ/分未満に絞りますと、自動的にガスが止まります。
- 給湯栓を開いてください。全開にしても給湯量が少ない場合は給水接続金具内部のストレーナ(水用フィルタ)を掃除してください。

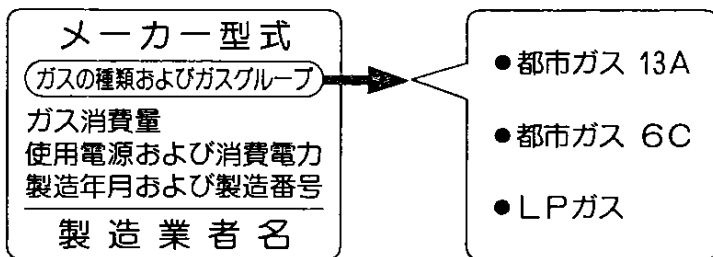


特に注意していただきたいこと

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
- 本体フロントカバーに貼付してある銘板に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかまず確かめてください。
- ※ 表示以外のガス（ガスグループ）では使用しないでください。

（銘 板）



- 転居時は特にご注意ください。

使用電源について

- AC100Vにてご使用ください。
- この器具の定格周波数は、50Hz・60Hz共通です。

器具の設置

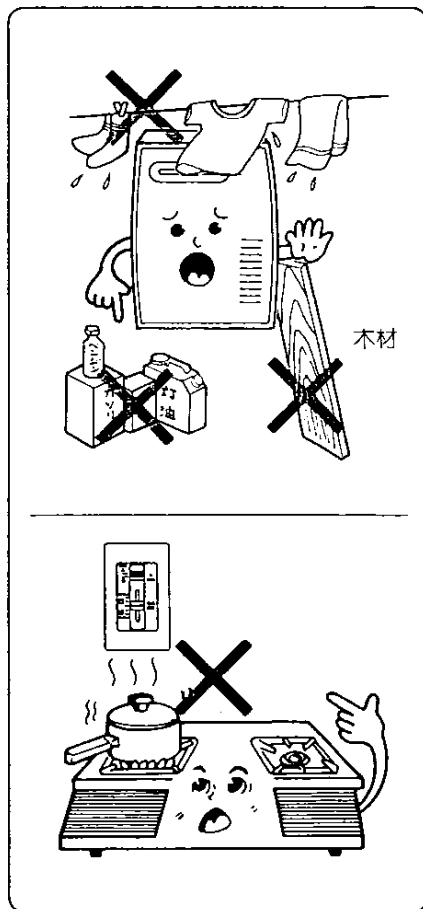
- 詳しくは設置・工事説明書をお読みください。
- 安全な位置に正しく設置されているか確認してください。

火災予防

- 器具の上や周囲、排気口の周囲には燃えやすいものを置かないでください。
- 特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。
- 火をつけたままで就寝・外出は絶対しないでください。
- フロントカバーを取りはずしたまま絶対に使用しないでください。

使用場所

- この器具は屋外用です。屋内では使用しないでください。
- 壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。
- 別売のメインリモコンは、ガスこんろやガスレンジの上には取り付けしないでください。
- 詳しくは設置・工事説明書をお読みください。



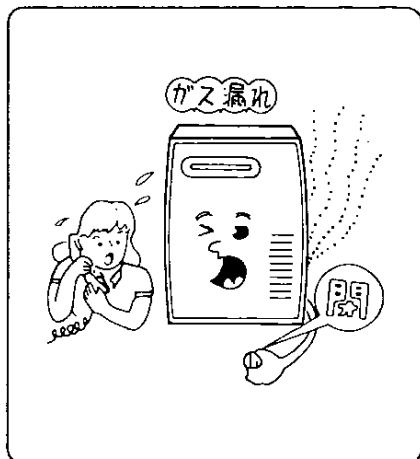
ガス事故防止

- ・ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

ご 注 意

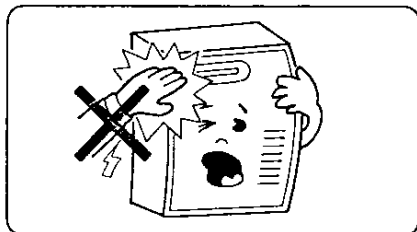
万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しなどをしないでください。

- ・長時間使用しないときは、ガス元栓を必ず閉めてください。

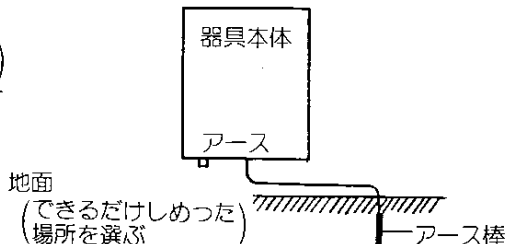
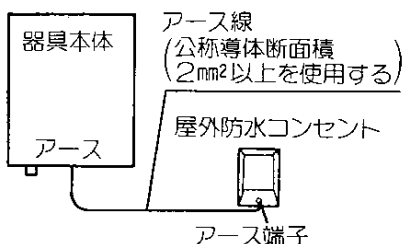


使用上のご注意

1. 給湯以外の用途には使用しないでください。
2. 飲用にお使いのときのご注意
 - ・器具や配管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。
3. 市販の補助具使用についてのご注意
 - ・この器具の補助具以外は使用しないでください。（不完全燃焼の原因となります）
 - ・混合水栓は出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水栓）を選定してください。水圧の低い地域では泡末水栓を使用しないでください。
4. 火傷(やけど)にご注意ください。
 - ・使用中および消火直後は、排気口周辺が高温になりますので絶対に手を触れないでください。
5. 雷時にはご注意ください。
 - ・雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので安全のため雷が発生したときは使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）ください。
6. アース(接地)のご確認
 - ・ご使用前に次のいずれかの方法で正しくアースされていることを必ずお確かめください。（接地抵抗100Ω以下を確認してください）



- 1) コンセント(または分電盤)にアース端子が付いている場合
- 2) アース棒を使用する場合

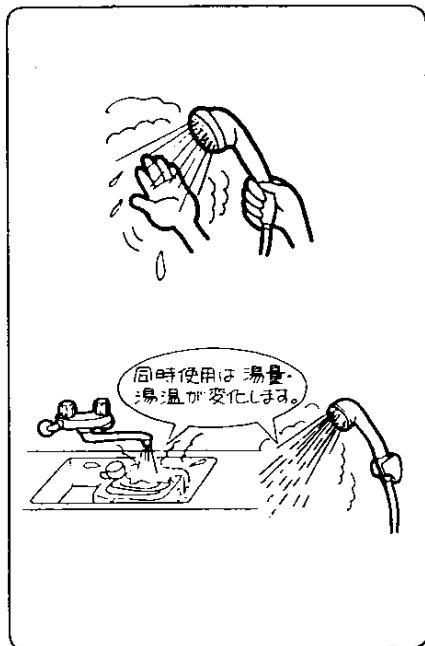


7. シャワーの使用について

- シャワーをお使いになるときや、シャワーをお使いになってお湯を止められた直後に再度お使いになるときは、いきなり体や頭にかげずに、手で湯温を確認してからお使いください。
- シャワーをお使いのとき、ほかの給湯栓と同時使用しますと湯量・湯温が変化しますので注意してください。
- 器具を使用中（特にシャワー使用中）水洗トイレをご使用になりますと、湯温が急に变化する場合があります。

8. 銅と衛生について

- 水質によっては、銅イオンがわずかに湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽や、タオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。

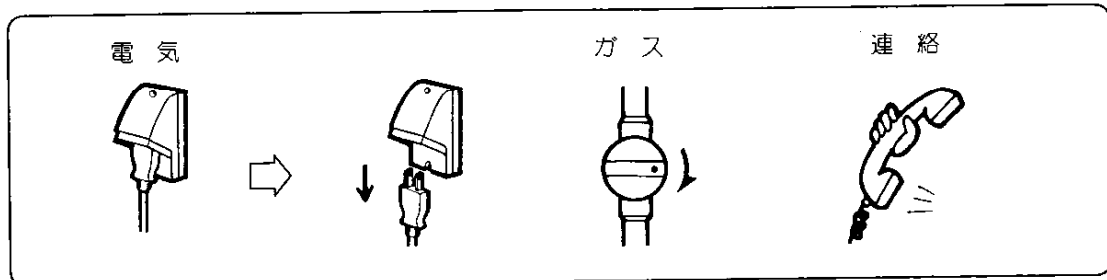


凍結についてのご注意

- 冬期器具内の水が凍る恐れのあるときは、凍結による器具の破損を予防するため、凍結予防の処置を必ず行ってください。電源プラグを抜かないで（分電盤の専用スイッチを「切」にしないで）ください。
- 外気温が極端に低くなる場合は、電源プラグを抜き（分電盤の専用スイッチを「切」にし）水抜きを実施してください。
- 詳しくは、7ページをお読みください。

異常時の処置について

- 万一異常燃焼を起こしたときや、緊急の場合、あわてず電源プラグを抜き（分電盤の専用スイッチを「切」にし）、ガス元栓を閉じて消火してから、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。



日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- ・点検・手入れの前には必ずガス元栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜き（分電盤の専用スイッチを「切」にし）、器具が冷えてから行ってください。
- ・安全装置およびガス通路部分、電気回路は絶対に分解しないでください。

点 検

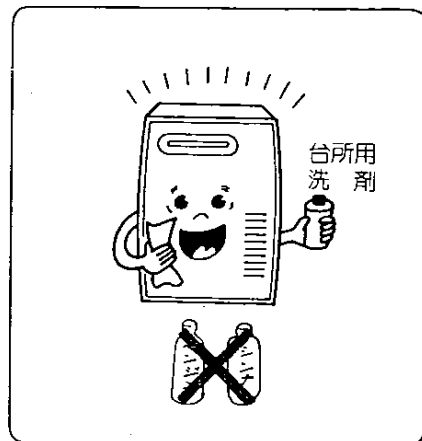
- ・器具および配管より、水漏れ・ガス漏れはありませんか。
（ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください）
- ・器具の外観に異常は見られませんか。
- ・器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

お 手 入 れ

- ・器具の表面が汚れたときは、中性洗剤で軽く拭いた後、乾いた布で十分に水気をとっておいってください。
シンナー・ベンジンなどでは拭かないでください。

ご 注 意

別売のコントローラの内部には電気部品がはいつていますので、水をかけないでください。



定期点検のおすすめ

- ・ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために定期点検をお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

長期間使用しない場合

- ・長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜き（分電盤の専用スイッチを「切」にし）、ガス元栓、給水元栓を閉め、水抜きをしておいてください。

故障・異常の見分け方と処置方法

早見表

原因	現象		お湯が出ない 使用中に消火する	給湯栓を閉しても消火しない	ガスの臭いがする	異常な音をたてて燃える	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	使用中湯温が変動する	凍結する	対策および 処置方法
	燃焼ランプがつかない	燃焼ランプが 消える 燃焼ランプが一旦点灯する									
ガス元栓の開き不足		●									ガス元栓を全開にする
(LPGガスの場合) ガスがなくなっている		●	●				●				新しいボンベと交換する
ガス配管中に空気が残っている		●									空気が抜けるまでしばらく 注意して点火操作をする
ノズルつまり		●									※
くもの巣で燃焼管内がまっている		●			●	●					※
器具栓の故障		●		●	●						※
電源プラグが抜けている	●									●	電源プラグをコンセントに しっかり差し込む
停電している	●									●	使用を一旦中止する
安全装置	立消え安全装置の作動		●								※
	沸騰防止装置の作動	●		●							※
	過熱防止装置の作動	●		●							※
	残火安全装置の作動	●		●							※
	空だき防止装置の故障	●			●						※
バーナ炎口つまり		●			●	●					※
排気口つまり			●		●	●					排気口を掃除する
ガス圧が適切でない		●	●		●	●	●	●			※
水圧が低すぎる	●										※
他の水栓の使用による水圧変動	●								●		※
自動水量制御装置の故障	●						●	●	●		※
泡末栓・シャワー散水板のつまり	●							●	●		掃除する
通水部のゴミつまり	●							●	●		ストレーナの掃除
給水元栓の開き不足	●							●	●		給水元栓を全開にする
水抜き栓の閉め忘れ				●				●			水抜き栓を閉める
給湯栓の開き不足	●		●					●	●		給湯栓を全開にする
水抜き忘れ										●	水抜きをする
リモコンの故障(別売)	●	●	●				●	●			※
ヒューズ切れ	●									●	※ヒューズを交換する(3A)

■対策および処置方法の欄で※印の場合は使用を中止し、ガス元栓を閉めて、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

仕 様

仕様一覧表

品 名		ガ ス 給 湯 器	
品 番		33-470	33-471
メ ー カ ー 型 式		RUX-2010WO	RUX-2010PSOT
設 置 方 法		屋外壁掛設置【後面近接設置形】	パイプシャフト扉内設置
外形寸法 (mm)	幅	370	
	高 さ	538	
	奥 行	150	150(+57排気筒)
重 量 (kg)	16		
接 続	給 水	15A (R1/2)	
	給 湯	15A (R1/2)	
	ガ ス	20A (R3/4)	
点 火 方 式	連続放電、ダイレクト着火方式		
ガス消費量	都市ガス(kcal/h)	max. 38,000~min. 6,840	
	LPGガス (kg/h)	max. 3.16~min. 0.57	
出湯能力	上 昇 温 度	25deg	40deg : 55deg
	出 湯 量(ℓ/min)	(20)	12.5 : 9.1
	号 数	20号~3.5号	
出 湯 温 度 (°C)	60(または42,75)固定		
水 量 制 御	自動水量制御装置		
最低作動水圧(kgf/cm ²)	0.15		
最低作動水量(ℓ/min)	2.9		
使用水圧(kgf/cm ²)	1.0~7.0		
電 源	AC100V(2m)		
消費電力(W) (50/60Hz)	NG・TG用58、LPG用68(常時5、別途凍結予防ヒータ80)		
50 / 60 Hz への対応	50/60共通		
安 全 装 置	立 消 え 安 全 装 置	フレームロッド	
	残 火 安 全 装 置	バイメタル式 97°COFF	
	過 熱 防 止 装 置	温度ヒューズ式 152°C溶断	
	空 だ き 防 止 装 置	フロースイッチ	
	沸 騰 防 止 装 置	サーミスタ検知式	
	燃 焼 フ ァ ン 確 認 装 置	ホールIC式	
	凍 結 防 止 装 置	凍結予防ヒータ、手動水抜き栓	
出 荷 時 仕 様	過 圧 防 止 安 全 装 置 圧力安全弁式 15.0kgf/cm ² 開、10.0kgf/cm ² 以上閉 出湯温度60°C		

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

仕 様

品 名	ガス給湯器	
品 番	33-472	
メ ー カ ー 型 式	RUX-2010PSOB	
設 置 方 法	パイプシャフト設置	
外形寸法 (mm)	幅	370
	高 さ	538
	奥 行	150(+61排気筒)
重 量 (kg)	16	
接 続	給 水	15A (R1/2)
	給 湯	15A (R1/2)
	ガ ス	20A (R3/4)
点 火 方 式	連続放電、ダイレクト着火方式	
ガス消費量	都市ガス(kcal/h)	max. 38,000~min. 6,840
	LPガス(kg/h)	max. 3.16~min. 0.57
出湯能力	上 昇 温 度	25deg : 40deg : 55deg
	出 湯 量(ℓ/min)	(20) : 12.5 : 9.1
	号 数	20号~3.5号
出 湯 温 度 (°C)	60(または42.75)固定	
水 量 制 御	自動水量制御装置	
最低作動水圧(kgf/cm ²)	0.15	
最低作動水量(ℓ/min)	2.9	
使 用 水 圧(kgf/cm ²)	1.0~7.0	
電 源	AC100V(2m)	
消費電力(W) (50/60Hz)	NG・TG用58、LPG用68(常時5、別途凍結予防ヒータ80)	
50 / 60 Hz への対応	50/60共通	
安 全 装 置	立 消 え 安 全 装 置	フレームロッド
	残 火 安 全 装 置	バイメタル式 97°C OFF
	過 熱 防 止 装 置	温度ヒューズ式 152°C 溶断
	空 だ き 防 止 装 置	フロースイッチ
	沸 騰 防 止 装 置	サーミスタ検知式
	燃 焼 フ ァ ン 確 認 装 置	ホールIC式
	凍 結 防 止 装 置	凍結予防ヒータ、手動水抜き栓
	過 圧 防 止 安 全 装 置	圧力安全弁式 15.0kgf/cm ² 開、10.0kgf/cm ² 以上閉
出 荷 時 仕 様	出湯温度60°C	

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

仕 様

附 属 部 品	<ul style="list-style-type: none"> ●共通 取扱説明書、設置・工事説明書 ●33-472型のみ 異径アダプタ、ϕ100延長用壁掛金具
別 売 部 品	メインリモコン、シャワーリモコン、2芯ケーブル(リモコン用)、扉内設置用取付ボックス、扉内排気延長アダプタ

※詳しくはそれぞれの「設置・工事説明書」をお読みください。

能 力 表

使 用 ガ ス 使用ガスグループ		1時間当りの ガス消費量(kcal/h)	出 湯 能 力 (能力最大) (ℓ /min)	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都 市 ガ ス 用	13 A	38,000	20.2	12.7
	6 C	38,000	20.0	12.5
L P ガ ス 用		3.16 (kg/h)	20.2	12.2

〈ご注意〉 出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

アフターサービス

サービス(点検・修理)を依頼される前に

- ・「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合な場合、あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス元栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて(分電盤の専用スイッチを「切」にして)から、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
- ・ご連絡の際には次のことをお知らせください。
 - (1) 品 名……ガス給湯器
 - (2) 品 番……前面下部に貼付してあります。
(例)
(N) 33-470
大阪ガス株式会社 07
 - (3) 現 象……(できるだけ詳しく)
 - (4) お名前、ご住所、電話番号、道順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ・ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。
- ・ガスの種類(ガスグループ)が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
- ・この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料修理となります。

保証について

- ・この器具には保証書がついています。
- ・当社は保証書に記載してあるように、器具の販売後、器具に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに、無料修理に 응 ず る こと を 約 束 いた します。(詳細は保証書をご覧ください)
- ・保証書を紛失されますと無料修理期間中であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
- ・凍結による故障の場合は無料修理期間中であっても有料修理となりますのでご注意ください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- ・この器具の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
- ・性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

連絡先

- ・お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
- ・裏表紙の住所一覧表を参照してください。

■ 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号 ■

南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2-9-41	TEL(06) 652-0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3-6-35	TEL(06) 301-1251
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	TEL(0722)38-1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39-6	TEL(0726)71-0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4-11	TEL(0798)26-3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	TEL(0729)62-1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16-17	TEL(0720)41-1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5-13-10	TEL(078)576-5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	TEL(075)231-8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	TEL(0742)44-1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	TEL(0734)31-2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4-8	TEL(0792)85-2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29-1	TEL(0794)21-1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	TEL(07962)3-2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680-1	TEL(0775)62-5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12-11	TEL(0749)22-3131
長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3-4	TEL(0749)62-7171
本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。